

第4次計画と第5次計画案の指標新旧対照表

資料4

4 指標一覧

旧

施策や取り組みを着実に推進するため、本計画では指標を設定します。5か年で達成すべき目標値を掲げ、進捗状況をチェックすることで計画の進行管理に生かしていきます。

基本目標	主要課題	番号	指標	現状値	目標
Ⅰ	1	1	市職員の年次休暇取得率（10日以上）	■%（R2）	100%
		2	市男性職員の育児休業・休暇取得率	17.4%（R2）	30%
		3	女性認定農業者数	27人（R2）	30人
		4	待機児童数	62人（R2）	0人
		5	学童クラブ設置数	48か所（R2）	50か所
	2	6	自主防災組織の防災訓練への女性の参加割合	49%（R2）	50%
	3	7	審議会等における女性委員の割合	28.0%（R2）	40%
		8	女性のいない審議会等の割合	9.4%（R2）	0%
		9	市職員の管理職に占める女性の割合	7.7%（R2）	15%
Ⅱ	4	10	人権尊重をテーマとした講座等の参加者数	21人／年（R2）	50人／年
		11	広報を利用したDV防止に関する情報提供	1回／年（R2）	3回／年
	6	12	がん検診受診率の向上	胃がん 1.5% 子宮頸がん 7.2% 肺がん 3.3% 乳がん 6.9% 大腸がん 3.6% （R2）	胃がん 10% 子宮頸がん 30% 肺がん 15% 乳がん 30% 大腸がん 20% （R2）
		13	若年期（30歳代）健康診査受診率の向上	5.1%（R2）	10%以上
		14	特定健康診査受診率の向上	41.1%（R2）	50%以上
Ⅲ	8	15	男女共同参画フォーラム参加者数	752人（R3）	1,000人
		16	男女共同参画情報紙発行回数	1回／年（R3）	3回／年
Ⅳ	10	17	市職員の男女共同参画研修受講者数	106人（R3）	200人

基本目標Ⅰ あらゆる分野で男女がともに活躍できる環境づくり
基本目標Ⅱ 安全・安心に暮らせる社会づくり
基本目標Ⅲ 男女共同参画社会の実現に向けた基盤づくり
基本目標Ⅳ 計画を積極的に進める体制づくり

4 指標一覧

新

施策や取り組みを着実に推進するため、本計画では指標を設定します。5か年で達成すべき目標値を掲げ、進捗状況をチェックすることで計画の進行管理に生かしていきます。

基本目標	主要課題	番号	指標	現状値	目標
Ⅰ	1		職場内で男女が平等と感じる人の割合	38.6%（R3）	60%
			女性活躍推進法における企業責務の認知度	64.0%（R3）	80%
			待機児童数	62人（R2）	0人
			市男性職員の育児休業・休暇取得率	17.4%（R2）	30%
			市職員の年次休暇取得率（10日以上）	40.4%（R2）	100%
	2		家庭内で男女が平等と感じる人の割合	37.4%（R3）	60%
			地域活動の場で男女が平等と感じる人の割合	34.4%（R3）	60%
	3		管理職に女性を登用している企業の割合	62.0%（R3）	80%
			配置や昇任において男女格差がないと答えた事業所の割合	86.0%（R3）	100%
			女性のいない審議会等の割合	9.4%（R2）	0%
			市職員の管理職に占める女性の割合	7.7%（R2）	15%
			審議会等における女性委員の割合	28.0%（R2）	40%
Ⅱ	4		DV相談窓口を知っている人の割合	51.5%（R3）	80%
			ハラスメント防止の取組を行う企業の割合	72.0%（R3）	80%
	5		性的マイノリティの人にとって生活しづらい社会だと思う人の割合	76.9%（R3）	50%
	6		がん検診受診率の向上	子宮頸がん 7.2% 乳がん 6.9% （R2）	子宮頸がん 30% 乳がん 30%
			若年期（30歳代）健康診査受診率の向上	5.1%（R2）	10%
			特定健康診査受診率の向上	42.6%（R2）	47%
Ⅲ	8		社会全体で男女が平等と感じる人の割合	14.1%（R3）	60%
	9		学校教育の場で男女が平等と感じる人の割合	61.9%（R3）	70%
Ⅳ	10		「男女共同参画」という言葉の認知度	—	100%
			市職員の男女共同参画研修における理解度	—	100%

基本目標Ⅰ あらゆる分野で男女がともに活躍できる環境づくり／基本目標Ⅱ 安全・安心に暮らせる社会づくり
基本目標Ⅲ 男女共同参画社会の実現に向けた基盤づくり／基本目標Ⅳ 計画を積極的に進める体制づくり

第4次計画と第5次計画案の体系比較



※「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」第6条第2項の規定に基づく本市推進計画に該当する部分